

1980年代後半

名阪国道
奈良県側

名阪国道 リフレッシュ

1985年、道路構造の機能アップを図る

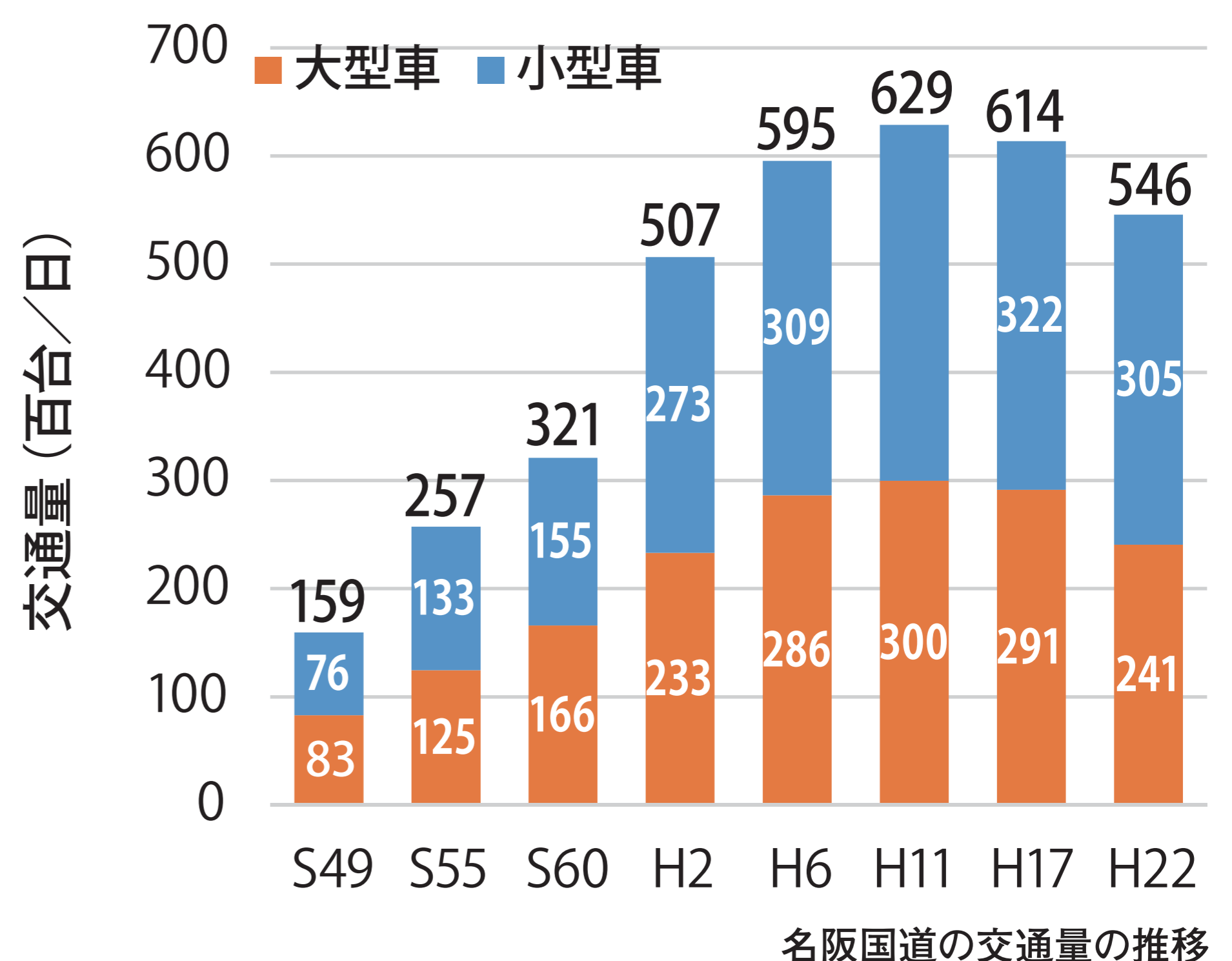
より安全・安心、利用しやすい名阪国道へ

全線四車線化した名阪国道では近隣県を通る高速道路や自動車専用道路との連結・開通に伴い、交通量が急激に増加。交通事故の増加等が大きな課題となっていた。

そのため昭和60(1985)年、「名阪国道リフレッシュ計画」を策定、既存施設の改良を進めることとした。



混雑する名阪道路



急勾配区間に登坂車線を設置

名阪国道は奈良県部において高低差が激しく勾配区間も多いことから、リフレッシュ計画では大型自動車用の登坂車線整備に力を入れて取り組んでいった。平成元年度の天理地区を皮切りに5カ所で設置を進め、工事のための夜間通行止めを2回実施して、平成4年度に完了した。



施工前



施工後

神野口IC付近